



IR HANDBOOK

第67期 第2四半期のご報告
2015.4.1▶2015.9.30

人を豊かに、地球を美しく

私たち松田産業は、地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します。

当社グループは、限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」、きれいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」の3事業を展開しています。貴金属関連事業（「貴金属事業」「環境事業」）を拡大・成長の牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付け、安定性と成長性を実現する企業づくりを行っています。

拡大・成長
牽引部門

貴金属関連事業

売上高構成比
66.1%

事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



貴金属事業の概要

貴金属地金・エレクトロニクス業界向け貴金属材料の製造・販売、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界を主要な顧客先としています。

環境事業の概要

感光材料に含まれる銀のリサイクルと、その他製造業から発生する産業廃棄物の収集・運搬、廃酸・廃アルカリなどの無害化中間処理、リサイクルを行っています。

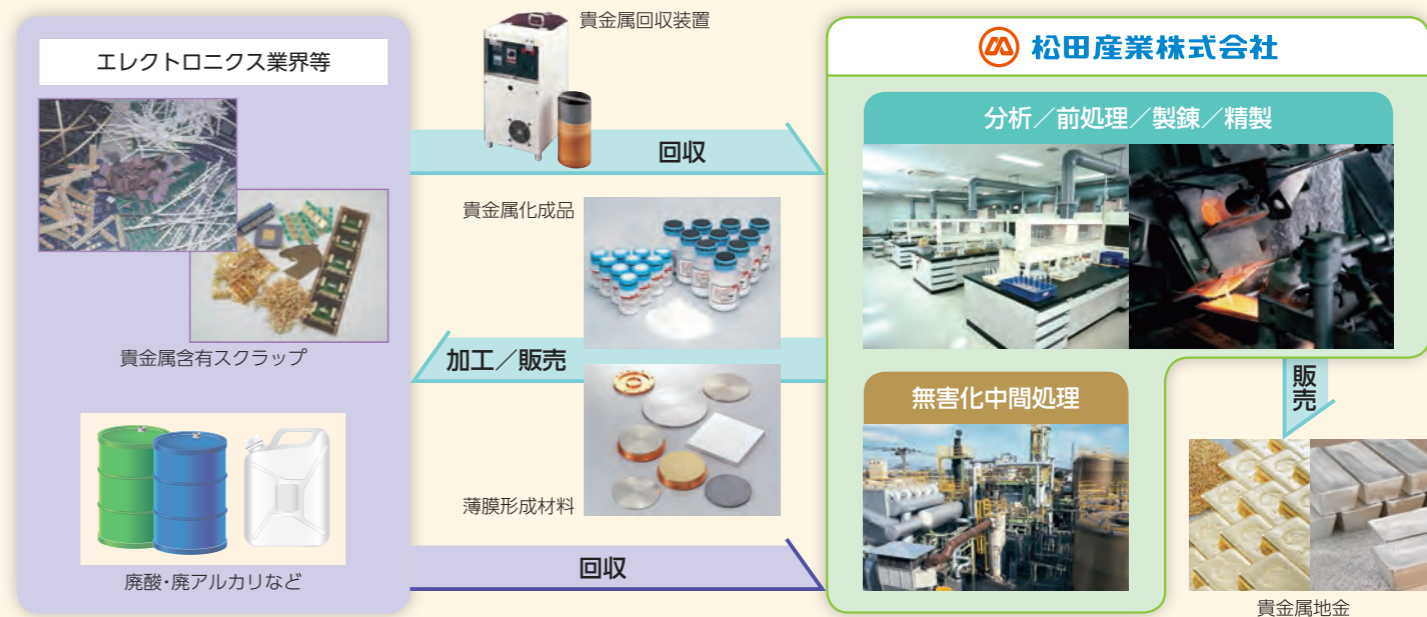
貴金属事業の強み

1. 貴金属化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
2. 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱量は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の貴金属市場で流通が認められています。

環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

事業フロー



安定的成長
部門

食品関連事業

売上高構成比
33.9%

事業の成り立ち

1935年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみや農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材（水産品・畜産品・農産品など）を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

事業の強み

1. ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
2. 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
3. すりみ、エビ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。

事業フロー





代表取締役社長 松田 芳明

揺るぎない成長ビジョンのもと 事業の進化を継続し、 グローバル成長への歩みを 着実に進めます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社の2016年3月期第2四半期(2015年4月1日～2015年9月30日)のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

2016年3月期第2四半期の業績と配当につきまして

当第2四半期においては、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調が続いたものの、個人消費の停滞感や、国内の生産・輸出等に弱さがみられ、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念が強まるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

こうしたなか貴金属関連事業では、貴金属原料の確保や化成品等の販売、産業廃棄物処理の受託拡大に取り組むとともに、海外拠点の拡充にも積極的に取り組み、貴金属原料、産業廃棄物処理の取扱量は増加したものの、貴金属製品や電子材料の販売数量減と貴金属相場の下落等もあり、減収増益となりました。食品関連事業では、海外拠点の強化と顧客ニーズをとらえた商品提供によって販売数量を拡大し、価格の上昇等もあり、増収減益となりました。

以上により、当社の2016年3月期第2四半期累計の連結業績は、売上高は前年同期比2.6%減の853億66百万円、営業利益は同1.9%増の20億47百万円、経常利益は同1.7%増の23億55百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同0.6%増の15億69百万円となりました。

このような業績を受け、第2四半期末の配当金につきましては、普通配当は期初予定通り1株当たり13円とするとともに、本年8月に株式公開20周年を迎えたことから、株主の皆様への感謝の意を表す記念配当1円を加

2016年3月期第2四半期 ハイライト

貴金属関連事業

- 2015年4月 第2回高機能金属展2015に出展
- 2015年6月 JPCA Show 2015に出展

その他経営関連

- 2015年6月～2015年9月 自己株式の取得を実施(複数回)

え、1株当たり14円といたしました。2016年3月期の期末配当も14円(普通配当13円、記念配当1円)とし、年間配当金は、前期から3円増配の28円とする予定です。

事業のさらなる進化を継続し、 グローバル成長へ向けて着実に歩みます。

足元では国内外の景気に停滞感がみられるものの、当社は今後も事業のさらなる進化を継続し、グローバル成長への歩みを着実に進めてまいります。

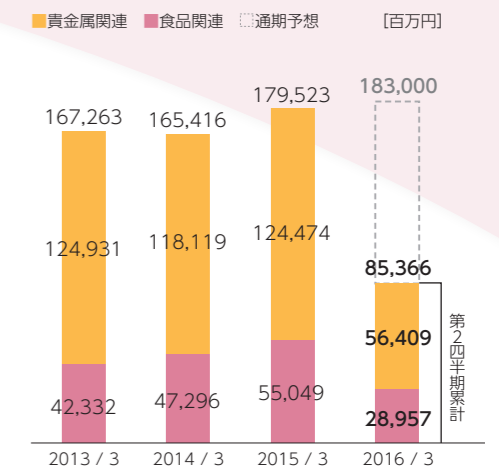
貴金属関連事業では引き続き「東アジアNo.1リファイナー」を目指すというビジョンのもと、中長期的視点からの事業基盤強化と、より新しい商品・サービスの展開に取り組めます。ベトナム現地法人においては、かねて建設を進めてきた貴金属製錬工場の稼働準備を進めております。貴金属化成品の研究開発につきましては、新たに中性タイプのパラジウムめっき液を開発し量産を開始するなど、グローバル競争力と収益力強化に向けた新たな取り組みに注力しています。

食品関連事業では、新たなビジネスモデルとして数年来注力してきた海外現地での販売や三国間貿易が徐々に拡大しており、グローバル市場における当社グループのプレゼンスも次第に高まってきています。今後も当社グループならではの品質保証ノウハウを差別化ポイントとして最大限に活かし、安全・安心かつ高品質で安定的な食品原料の供給により、顧客基盤をグローバルに拡大してまいります。

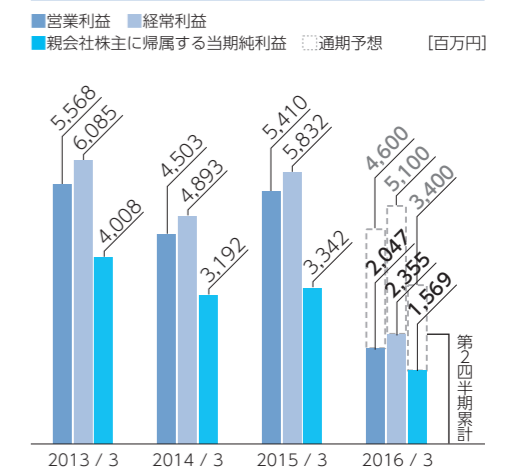
これからも当社は重要な社会的使命を帯びた企業として、貴金属関連事業を成長牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付けた持続的成長を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

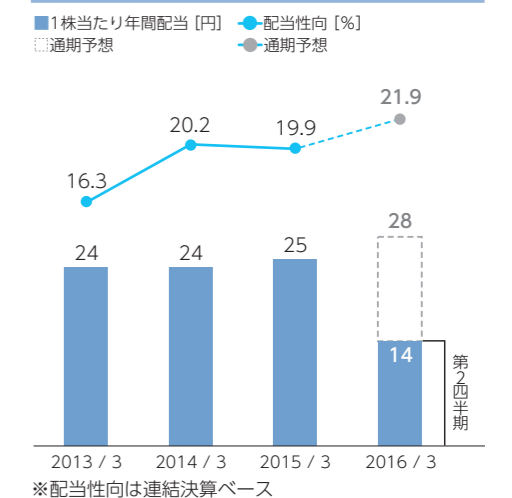
売上高



営業利益／経常利益 ／親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり年間配当／配当性向

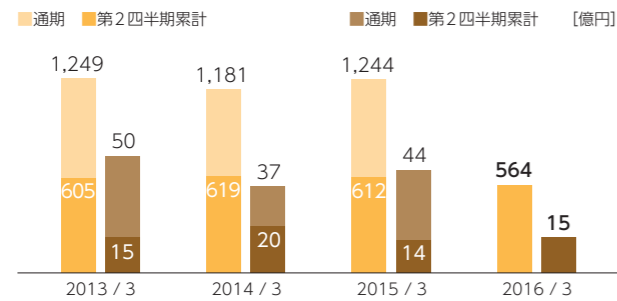


営業概況&グローバルネットワーク

貴金属関連事業

売上高
564億円
(前年同期比 7.9%減)

営業利益
15億円
(前年同期比 6.3%増)



2016年3月期第2四半期の業績

貴金属リサイクルおよび産業廃棄物処理の取扱量は増加したものの、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産状況に力強さがなく、写真感材業界も依然として市場の縮小が継続したことから、貴金属製品および電子材料等の販売量が減少しました。加えて金を除いた貴金属相場下落の影響等もあり、売上高は減少しました。

通期の見通しと施策

半導体・電子部品業界の生産状況に先行き不透明感が生じているものの、中長期的視点からの事業基盤強化と持続的成長力の確保へ向け、「国内・海外拠点の拡充」「製品・技術の開発」に取り組んでいます。

貴金属関連事業 東アジアネットワーク

貴金属材料事業でも新たな付加価値を創出!

薄膜形成材料や、めっき液・めっき補充塩等といった貴金属化成産品を製造する貴金属材料事業は、当社のコア事業の一つです。同事業の代表的製品の一つであるパラジウムめっき液は、電子部品や車載用半導体パッケージ等向けを中心に売上が堅調に推移していますが、本年6月、新たに開発した「中性タイプ」のパラジウムめっき液の量産をスタートしました。同製品は液安定性が高く管理が容易であるほか、低濃度かつ高電流密度で使用できるため、お客様の生産効率の向上に寄与し、コスト削減、貴金属ロスの低減に貢献します。



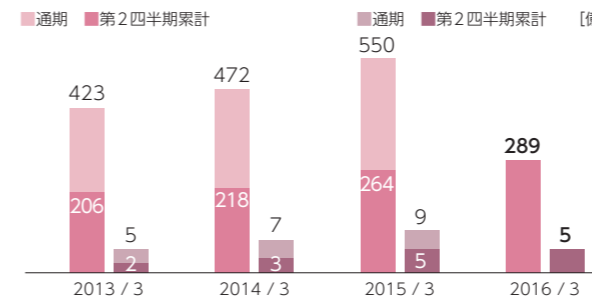
当社貴金属化成産品

Topics

食品関連事業

売上高
289億円
(前年同期比 9.7%増)

営業利益
5億円
(前年同期比 9.0%減)



2016年3月期第2四半期の業績

国内では円安などによる原価高騰や個人消費の持ち直しの弱さといった厳しい事業環境が継続したものの、安全・安心・高品質な商品ニーズにきめ細かく対応した結果、水産品、畜産品、農産品のいずれにおいても販売数量が増加し、価格上昇もあり、売上高は増加しました。

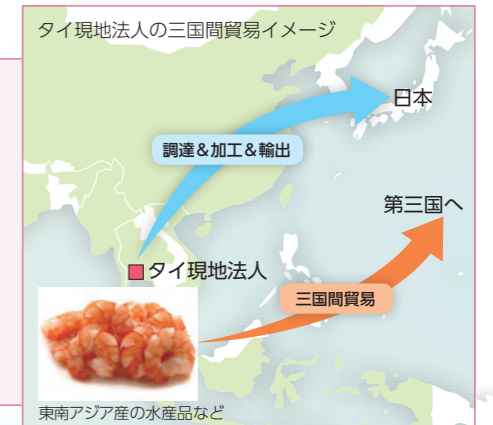
通期の見通しと施策

国内景況感に若干の停滞感があるものの、高付加価値品への需要は底堅いことから、「国内外の顧客ニーズを的確にとらえた営業活動、海外拠点の活用を継続し、着実な収益確保を図ります。」

食品関連事業の拠点と主な調達先

海外現地ビジネスを拡大中!

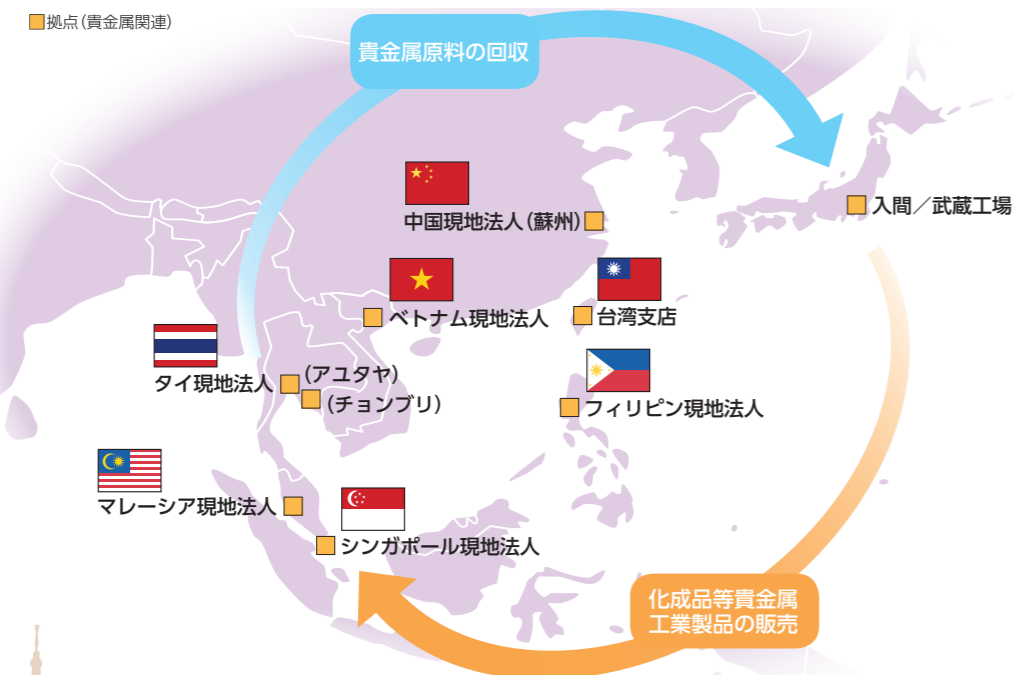
グローバルな調達ネットワークを駆使し、お客様が要求する商材を迅速に世界各国から調達する機能は、当社食品関連事業の最大の強みの一つです。この強みを活かし、現在、海外現地ビジネスを拡大させています。例えば中国現地法人では、安全・安心な原材料を付加価値商品として販売展開し、またタイ現地法人では、東南アジアの冷凍魚やエビ等の水産品を第三国へ輸出するなど、海外拠点において、三国間貿易を含めた事業拡大をしています。



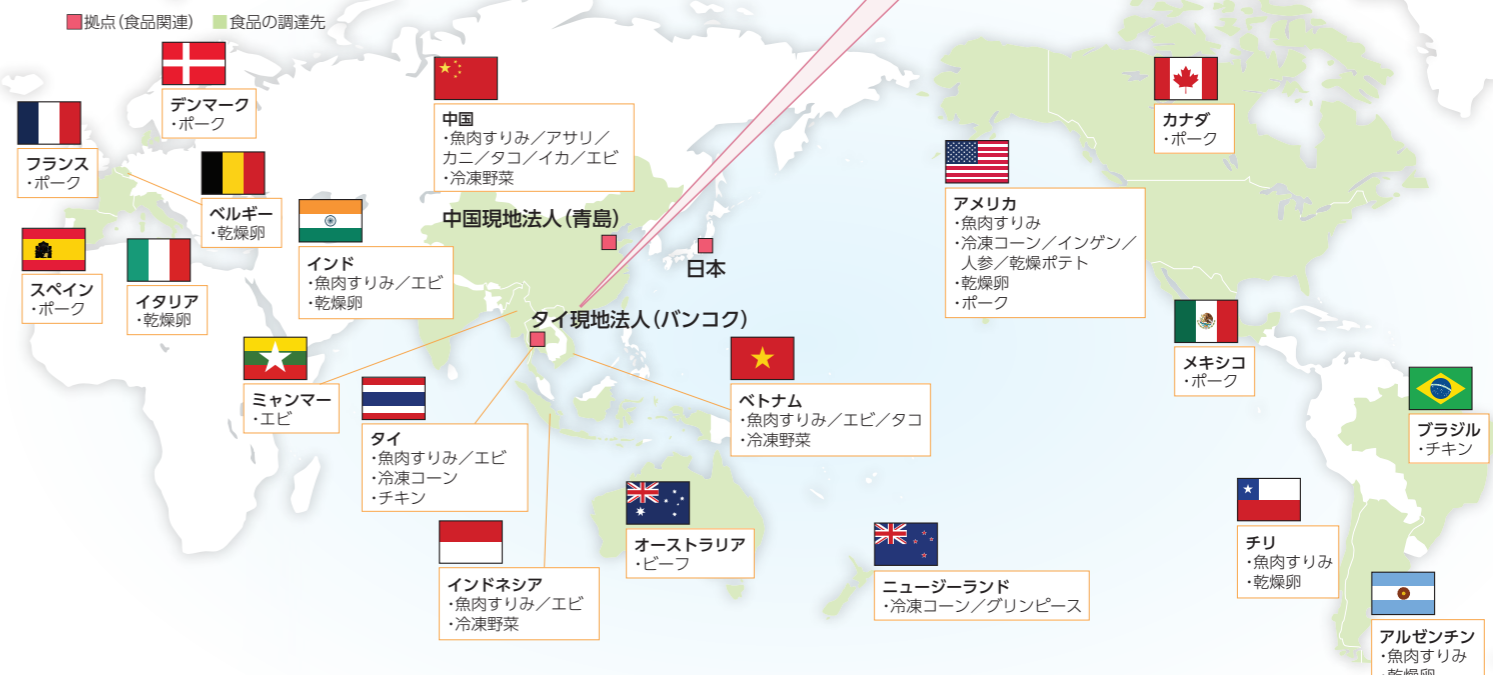
タイ現地法人の三国間貿易イメージ

東南アジア産の水産品など

■拠点(貴金属関連)



■拠点(食品関連) ■食品の調達先



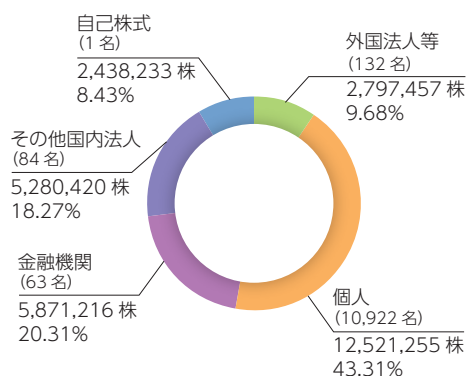
会社概要 (2015年9月30日 現在)

商号	松田産業株式会社	従業員数(連結)	998名
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2	主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
設立年月日	1951年6月18日	会計監査人	新日本有限責任監査法人
資本金	3,559百万円		

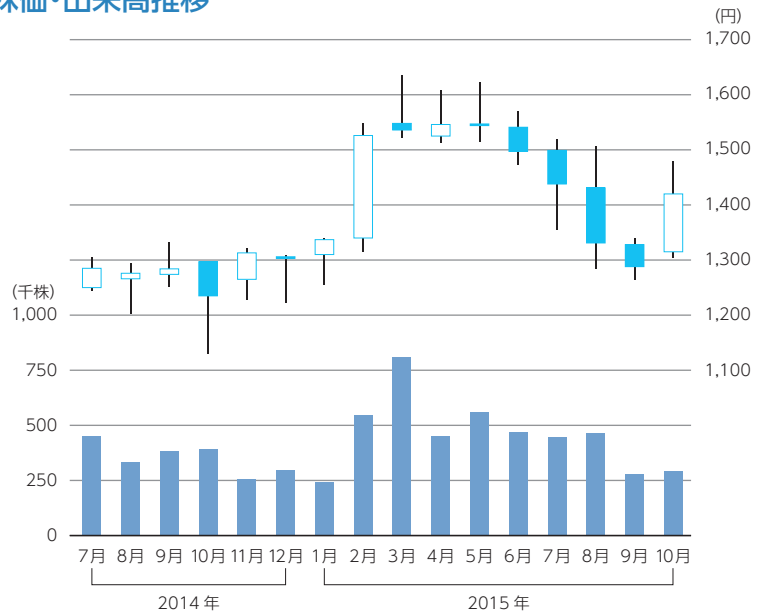
株式の状況 (2015年9月30日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	11,202名

所有者別分布状況 (2015年9月30日 現在)



株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



松田産業株式会社

証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

